

共生・協働の^{むら}農村づくり運動

～人と自然と地域が支え合う みんなで創る農村社会～

むらづくり通信

VOL15

農地集積 8割を達成した集落ぐるみのむらおこし
～一ツ木公民会(さつま町)～



集落ぐるみの農業生産活動「さつまいも収穫作業」



地区外の子供達との交流



都市農村交流「収穫体験」

県では、農村の活性化を目指し「人材の育成」「農村環境の保全」「新たなむらづくり」など、地域の資源を活用し、NPOや都市住民など地域外の活力を取り入れた「共生・協働の農村(むら)づくり運動」を推進しています。

県内各地で、地域の特色を生かした取組が行われ、令和3年度豊かなむらづくり全国表彰事業において、一ツ木公民会(さつま町)が農林水産大臣賞を受賞しました。



鹿児島県農政部農村振興課

祝

令和3年度 豊かなむらづくり全国表彰事業 農林水産大臣賞 受賞 一ツ木公民会(さつま町)

地区の概要

- ①総人口 143人
- ②総世帯数 75戸
- ③農家戸数 65戸
- ④主要作物等 水稲, WCS
(R3.3.31現在) 里芋, さつまいも



さつま町の位置図



一ツ木公民会の位置図



豊かなむらづくり全国表彰事業
九州ブロック表彰式
(令和3年12月17日 熊本地方合同庁舎)

～農地集積8割を達成した集落ぐるみのむらおこし～

多様な世代が連携し、地域資源や伝統行事を守り続ける意思の共有と自主的で持続的なむらづくり活動を展開しています。



集落ぐるみの農業生産活動



高齢者によるさといもの皮むき



さといものむき身



さといも饅頭「うんだもしたん里芋じゃ」



田の神様
(豊作を田の神様に感謝する伝統行事)



一ツ木集落の8つの標語



秋の豊作を祝う「収穫感謝祭」



1枚1haのほ場整備を実施
(県経営体育成基盤整備事業の導入)



伝統行事「大綱引き」
(健康祈願の願いを込め、ワラで編んだ綱で
大綱を引き合う)



近隣地区の子供達への収穫体験

令和3年度「かごしま農村創生塾」を開催

県では、地域資源を有効に活用して、「ひとづくり」や「しごとづくり」など地域の活性化を牽引するむらづくりリーダーを育成しています。

将来の人口予測からムラを考える(令和3年12月15日～16日)

●講演 「農村に人と仕事を取り戻す」

- ・講師 (一社) 持続可能な地域社会総合研究所
所長 藤山 浩 氏

<主な内容>

暮らしに必要なものを自分たちの地域で生み出し、地域内で経済を循環させる取組を検討することが必要

●参加者によるワークショップ(演習)

- ・地域の人口の現状分析と将来の人口を推測
- ・定住や交流人口増へ向けて、地域経済を循環させるための体制づくり、受け皿づくりなど具体的な取組を検討し、相互に発表



地域の人口の安定化へ向けた「シナリオ」完成

新たな担い手確保に向けた魅力あるむらづくり(令和3年11月19日)

●講演 「若者の目もキラキラ

世代を超えて自発的に取り組むむらづくり」

- ・講師 新潟県 高根フロンティアクラブ
会長 鈴木 信之 氏

<主な内容>

首都圏の大学生や企業と連携した森づくり活動や空き家を活用したシェアハウスでのお試し移住等により、若者の移住・定住に成功

廃校を活用した農家レストラン「IRORI」の開設やどぶろく製造等により、集落内で所得と雇用を確保するしくみを構築

●むらづくり取組事例紹介

- ・南大隅町 早馬集落営農組合 組合長 大野 義久 氏
- ・南九州市 集落支援員 齋藤 博 氏



むらづくり事例の講演

ふるさと水土里の探検隊

鹿児島国際大学と連携して集落点検を実施し、地域の保全活動計画の作成や学生による地域活性化策の提案等の支援を行っています。



若者の視点を交えた集落点検



保全活動計画の作成



地域活性化策の提案会



「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に 県内4棚田が認定されました。

棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対するより一層の理解促進を図るため、農林水産省が「つなぐ棚田遺産」を認定しました。

八重の棚田(鹿児島市)

- 保全活動組織
八重地区棚田保全委員会
- 維持・保全の取組
 - ・棚田オーナー制度を活用した田植え、収穫体験
 - ・棚田をイルミネーションで彩る「八重のきらめき」など、棚田を観光資源としたイベントの開催



新永吉の棚田(指宿市)

- 保全活動組織
新永吉の棚田振興協議会
- 維持・保全の取組
 - ・地元小学校と連携した餅つき体験
 - ・竹垣づくりのワークショップ、景観作物の植え付けの実施



おさがり 尾下の棚田(指宿市)

- 保全活動組織
尾下の棚田振興協議会
- 維持・保全の取組
 - ・尾下ファンづくりのためのワークショップ開催
 - ・交流拠点となる旧商店跡地のリノベーションの実施



幸田の棚田群(湧水町)

- 保全活動組織
幸田地区棚田保全対策委員会
- 維持・保全の取組
 - ・「棚田ウォークin幸田」の開催
 - ・棚田における農業体験等の教育活動の実施



水土里サークル活動の紹介



高山地区広域協定(肝付町) (北後田環境保全組織)

- 水土里サークル活動組織として、農地・集落環境保全に取り組んでいる(H19～)。
- 地域の小学生も参加して、微生物を活用した水路の水質浄化に取り組んでいる。
- 景観形成活動としてコスモスを植栽し、開花の時期には鑑賞会を行っている。令和3年は約150人が参加



向町地区環境保全会(中種子町)

- 水土里サークル活動組織として、農地・集落環境保全に取り組んでいる(H19～)。
- 景観形成活動として、アジサイやチューリップ等の植栽を婦人会や育成会など農業者以外の団体も参加し、地域の一体感が生まれている。
- 水土里サークル活動が地域に浸透し、草刈りなどの維持管理活動に農業者以外の地域住民も参加するようになってきている。



むらづくり活動に取り組む地区の紹介

農村集落とNPO等の多様な主体とが連携し、農村集落の課題解決活動を支援しています。

高田村づくり委員会 (南九州市)

- ・「たかたの命水」の水汲み場環境整備に向けた話し合い活動
- ・スプラウトにんにくの試験販売
- ・石切場跡でのロッククライミング、音楽鑑賞会の実施

【連携先】 かがしまよろず支援拠点



話し合い活動(たかたの命水の環境整備)



たかた石切場



たかたの命水の水汲み場

たかぜ こうちょうかい 竹子っ好調会 (霧島市)

- ・空き倉庫を活用した「ふれあいサロンたかぜバル」開業
- ・果樹を使用したワインの試作・開発
- ・クラウドファンディング活用のためのPR動画の作成

【連携先】 かがしまよろず支援拠点



たかぜバル 地産地消ランチ



たかぜバル 女性の活躍



ワイン試作

中谷地区そば生産組合 (曾於市)

- ・中谷地区を探検・調査し、掘り起こした地域資源の活用方法を検討
- ・そばを活用した新商品の可能性を検討

【連携先】 NPO法人まちづくり地域フォーラム・かがしま探検の会
NPO法人霧島食育研究会



地域資源の活用方法を検討



そばの生育状況調査



地域の料理
「そば」
「蜂の子」

種子島沖ヶ浜田黒糖生産協同組合 (西之表市)

- ・就農希望者の定住促進に向け、空き家活用の検討や情報収集を実施
- ・クラウドファンディング活用のためのPR動画の検討
- ・有機黒糖の試作、テスト販売

【連携先】 (株)南日本放送 パーソナリティー 柴さとみ氏



伝統製法による黒糖づくり



話し合い活動(定住促進, PR動画など)



沖ヶ浜田の
黒糖

福元地区集落協定 (大和村)

- ・地域での話し合い活動
- ・たんかん収穫体験等のJAL農業体験ツアーの実施
- ・たんかんPR用化粧箱のデザイン案作成

【連携先】 NPO法人TAMASU



話し合い活動(農業体験, デザイン)



化粧箱のデザイン案



地区のたんかん

令和2年度共生・協働の農村づくり運動表彰事業

県では、地域資源等を活用した魅力あるむらづくりに取り組んでいる地区等を表彰しています。

受賞地区の活動内容の詳細については、県ホームページに掲載しています。

○ 令和2年度は、農村集落部門の2地区、功労者部門の2名を表彰しました。

【農村集落部門】	早馬集落営農組合（南大隅町）
	手々集落（徳之島町）
【功労者部門】	内匠 秋夫 氏（南九州市）
	中木場 修 氏（薩摩川内市）

農村集落部門

早馬集落営農組合（南大隅町）

大野・柿迫・長野の3集落が一体となって、「早馬集落営農組合」を設立し、直売所の開設を通じた地域内外住民との交流や特産品の販売により地域の活性化に取り組んでいます。

主な取組

- 集落住民による話し合い活動の実施（20年間継続中）
- 伝統野菜であるトイモガラ植栽による荒廃農地の発生防止、農業機械の共同購入による農作業の効率化
- フラワーロードづくり（あじさい、彼岸花）や大規模なひまわり植栽、直売所「早馬元気市」の開設や岬マラソン等のイベントでの販売活動などによる都市農村交流



直売所「早馬元気市」

手々集落（徳之島町）

伝統行事「ムチタボリ」を絶やさないよう、若い世代への継承に取り組み、ふるさと留学生や農業体験の受入による地域内外住民との交流により、地域の活性化に取り組んでいます。

主な取組

- 集落住民の共同活動による荒廃農地の発生防止・解消
- 防護柵の設置や狩猟免許の取得など集落一丸となった野生鳥獣による農作物被害の防止
- 小・中学校との連携による「ふるさと留学生」の受入や集落としての学校行事への参加
- 町無形民俗文化財に指定されている集落伝統行事「ムチタボリ」の継承



伝統行事「ムチタボリ」

功労者部門

内匠 秋夫 氏(南九州市)

- 平成10年 高田村づくり委員会の設立に貢献
初代委員長に就任
- 平成12年 高田村づくり委員会の転作生産部会
初代部会長に就任
- 平成13年 高田小学校と連携した米作り体験を
開始
- 平成19年 高田営農生産組合の設立に貢献
初代表に就任
- 平成21年 農事組合法人「土里夢たかた」を
設立、初代表に就任
- 令和2年 高田村づくり委員会が「豊かなむらづ
くり全国表彰事業」で農林水産大臣賞
を受賞

主な功績

- 高田むらづくり委員会委員長を20年以上に渡って務め、次世代のリーダー育成にも尽力
- 集落営農組織の設立や集落全体で継続できるむらづくりを実践
- NPO等との連携による都市農村交流や空き家の再生による移住・定住への取組に寄与



鹿児島女子短期大学との連携活動

中木場 修 氏(薩摩川内市)

- 平成22年 朝陽みどりファーム初代理事長に就任
- 平成24年 朝陽地区コミュニティ協議会会長に就任
- 平成25年 鹿児島県普及指導協力員に就任
- 平成27年 薩摩川内市食育推進委員に就任
- 平成28年 鹿児島県むらづくり推進マネージャー
として活動
- 令和元年 土地改良区の incoming 地区理事に就任

主な功績

- 県むらづくり推進マネージャーとして、地域リーダーの育成に尽力
- 各地の話し合い活動に参加し、合意形成手法の指導・助言
- 地元の朝陽地区コミュニティ協議会会長を6年間務め、集落営農組織の設立に貢献



地元小学校での食育活動

グリーンツーリズム・農泊※の取組について

※農山漁村滞在型旅行

県では、多様な主体と農村集落とが連携して取り組むむらづくりの推進に加えて、都市と農村の交流などのグリーン・ツーリズム等の受入態勢の充実・強化や農泊を持続的なビジネスとして実施できる態勢を持つ地域の創出を図ることとしています。

農泊の推進

農泊シンポジウムの開催

新たに農泊に取り組む地域の機運醸成を図るため、農業と観光との連携等の優良事例研修会を開催しています。



佐賀県の「嬉野茶時」の取組事例紹介

～参加者の声～

- ・ ビジョンの共有の重要性を改めて知れた。
- ・ 自分達の足下を見つめ直す必要を感じた。

農泊実践研修会の開催

持続的な農泊への取組を促進するため、地域内の異業種等との連携に向けた研修会を開催しています。

旅行者の安心・安全な受入態勢整備

感染症予防対策研修会の開催、感染症対策チェックリストの周知等による旅行者の安心・安全で継続的な受入態勢づくりを進めています。

農泊実践者の育成

農泊実践者の育成を図るため、地域のマネジメント力、体験プログラムの企画、情報発信の手法等に関する研修会を開催しています。

旅行者等の受入拡大

農家民宿の開業促進

旅館業法に基づく農家民宿の開業を促進するため、アドバイザーを派遣しています。



研修会の開催

経営改善研修会の開催

コロナ禍における受入対策など、農家民宿開業者を対象とした研修会を開催しています。



新規開業者への助言



農家民宿の事例紹介

農村体験プログラムの開発支援

農村の魅力を発掘するためのモニターツアーを実施しています。



稲刈り体験



農業体験

共生・協働のむらづくり通信 第15号(令和4年3月発行)

編集・発行: 鹿児島県農政部農村振興課

〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1

TEL: 099-286-3108

鹿児島県ホームページ(むらづくり, グリーン・ツーリズム)

<https://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/nogyo/noson/mura/tsuusin/index.html>